



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成31年2月12日

上場会社名 株式会社鴨川グランドホテル 上場取引所 東
 コード番号 9695 URL http://www.kamogawagrandhotel.ne.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 健史
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)四野宮 章 (TEL)04(7094)5581
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	2,044	△35.7	△353	—	△467	—	△1,230	—
30年3月期第3四半期	3,177	△0.1	195	△17.6	149	△21.4	127	△32.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△137.61	—
30年3月期第3四半期	14.24	14.23

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	6,517	△123	△2.0
30年3月期	6,294	1,127	17.9

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 △129百万円 30年3月期 1,123百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,915	△7.9	△430	—	△560	—	△1,000	—	△111.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については本日(平成31年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	10,453,920株	30年3月期	10,453,920株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	1,514,075株	30年3月期	1,514,075株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	8,939,845株	30年3月期3Q	8,939,846株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	—	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、年末にかけ急激な円高・株安となりましたが、全体として景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、英国のEU離脱問題や米・中の貿易戦争等経済へ及ぼすリスク懸念から、先行きは不透明な状況となっております。

リゾートホテル業界におきましては、海外・国内旅行とも堅調に推移、訪日外国人客も増加しております。

そのような状況の中で当社は、主力施設である鴨川グランドホテルの耐震改修・バリューアップ工事のため長期休館せざるを得ず、その他事業所にて業績をカバーすべく取り組んで参りましたが、ホテル・リゾート関連は伸び悩みました。一方、ビジネスホテルは訪日外国人や堅調な国内需要により高稼働を維持しました。

その結果、当第3四半期累計期間の営業収益は2,044百万円と前年同四半期と比べ1,132百万円(35.7%)の減収となり、営業損失は353百万円(前年同四半期は195百万円の利益)、経常損失は467百万円(前年同四半期は149百万円の利益)となりました。

また、四半期純損益につきましては、固定資産除却損及び解体撤去費用の特別損失を計上した結果、1,230百万円(前年同四半期は127百万円の利益)の純損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ223百万円増加し、6,517百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ803百万円減少し、641百万円となりました。これは主に、未収消費税等が181百万円増加したものの、現金及び預金が957百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1,026百万円増加し、5,875百万円となりました。これは主に、建設仮勘定が87百万円減少したものの、建物が1,149百万円増加したことによるものであります。

流動負債は、前事業年度末に比べ28百万円増加し、4,178百万円となりました。これは主に、未払消費税等が40百万円減少しものの、未払金が119百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ1,446百万円増加し、2,462百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,400百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ1,251百万円減少し、△123百万円となりました。これは主に、四半期純損失1,230百万円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の通期の業績予想につきましては、平成30年8月7日付で公表しました業績予想値を修正しております。詳細につきましては、本日(平成31年2月12日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,133,388	175,850
売掛金	202,358	149,918
たな卸資産	43,556	60,223
未収入金	2,424	15,533
未収消費税等	-	181,128
その他	63,054	58,970
貸倒引当金	△20	△15
流動資産合計	1,444,762	641,609
固定資産		
有形固定資産		
建物	12,034,330	10,523,685
減価償却累計額	△8,953,293	△6,293,102
建物(純額)	3,081,036	4,230,583
構築物	514,509	514,509
減価償却累計額	△471,699	△474,679
構築物(純額)	42,810	39,830
機械及び装置	234,266	234,266
減価償却累計額	△173,468	△177,234
機械及び装置(純額)	60,797	57,031
車両運搬具	11,256	9,379
減価償却累計額	△10,510	△8,828
車両運搬具(純額)	746	551
工具、器具及び備品	835,200	654,004
減価償却累計額	△750,311	△579,716
工具、器具及び備品(純額)	84,889	74,288
土地	1,069,153	1,067,778
リース資産	154,401	196,464
減価償却累計額	△96,000	△111,243
リース資産(純額)	58,401	85,220
建設仮勘定	89,041	1,053
有形固定資産合計	4,486,876	5,556,336
無形固定資産		
投資その他の資産	35,798	30,875
投資その他の資産		
投資有価証券	123,316	82,013
差入保証金	169,703	169,603
保険積立金	12,229	16,733
その他	30,580	29,286
貸倒引当金	△8,894	△8,894
投資その他の資産合計	326,935	288,742
固定資産合計	4,849,610	5,875,954
資産合計	6,294,373	6,517,563

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	87,399	85,028
短期借入金	3,049,268	3,362,456
1年内返済予定の長期借入金	491,374	219,806
未払金	13,745	132,772
未払費用	259,760	236,474
未払法人税等	20,902	3,101
未払消費税等	40,305	-
賞与引当金	48,195	21,020
その他	139,701	118,210
流動負債合計	4,150,652	4,178,869
固定負債		
長期借入金	295,608	1,695,800
繰延税金負債	11,747	2,082
退職給付引当金	143,928	142,001
役員退職慰労引当金	42,620	39,031
長期預り保証金	456,144	449,994
その他	65,831	133,198
固定負債合計	1,015,880	2,462,107
負債合計	5,166,532	6,640,977
純資産の部		
株主資本		
資本金	626,761	626,761
資本剰余金	498,588	498,588
利益剰余金	△24,218	△1,254,390
自己株式	△5,320	△5,320
株主資本合計	1,095,810	△134,361
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,806	4,929
評価・換算差額等合計	27,806	4,929
新株予約権	4,224	6,018
純資産合計	1,127,841	△123,414
負債純資産合計	6,294,373	6,517,563

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業収益	3,177,284	2,044,347
営業費用	2,982,181	2,397,490
営業利益又は営業損失(△)	195,103	△353,142
営業外収益		
受取保険金	1,402	4,923
助成金収入	492	621
その他	9,695	11,355
営業外収益合計	11,590	16,899
営業外費用		
支払利息	57,092	64,572
休止固定資産減価償却費	-	66,038
その他	451	421
営業外費用合計	57,544	131,032
経常利益又は経常損失(△)	149,149	△467,275
特別利益		
補助金収入	8,400	-
投資有価証券売却益	-	7,169
特別利益合計	8,400	7,169
特別損失		
固定資産除却損	2,438	372,682
解体撤去費用	-	391,058
特別損失合計	2,438	763,740
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	155,111	△1,223,847
法人税、住民税及び事業税	27,764	6,324
法人税等合計	27,764	6,324
四半期純利益又は四半期純損失(△)	127,346	△1,230,171

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期会計期間(自平成30年10月1日至平成30年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第3四半期累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動がありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期会計期間末の貸倒実績等が前事業年度末に算定したものと比べ著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	2,577,288	508,886	3,086,174	91,110	3,177,284	—	3,177,284
セグメント利益又は損失(△)	211,661	41,215	252,876	△7,438	245,438	△50,334	195,103

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△50,334千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益 計算書 計上額 (注3)
	ホテル関連	リゾート 関連	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	1,484,059	474,636	1,958,696	85,651	2,044,347	—	2,044,347
セグメント利益又は損失(△)	△317,129	13,802	△303,326	△2,052	△305,379	△47,763	△353,142

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リネン事業及び清掃事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△47,763千円は、各報告セグメントに配分していない本社部門の費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。